



学校教育目標

さいたま市立大宮南中学校

わかとり

輝く個性 夢きらり

学校だより 1月号

令和7年1月7日(火)発行

〒330-0834

さいたま市大宮区天沼町2-362

TEL 641-1142 FAX 641-5356

新年を迎えて

校長 田村浩司

新年明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、お子様とともに、またご家族とともに明るく健やかに令和7年を迎えられたことと思います。本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

さて、皆さんは薪を背負いながら、本を読む二宮尊徳さんの少年時代(金次郎)の像を知っていますか。生徒の皆さんのお父さん、お母さん、おじいさん、おばあさんが小学生だった頃、この像を毎朝見ながら登校されたことでしょうか。



二宮金次郎の像
(南小の中庭)

そもそも、二宮金次郎(尊徳)さんとは、どんな人だったのでしょうか。金次郎さんは江戸時代末期に農民の子として生まれ、少年時代に酒匂川(さかわがわ)の氾濫で田畑を流され、その後は貧しい生活を過ごしました。そのような境遇でしたが、昼は農作業に励み、夜は寝ずに勉学に励みました。

金次郎さんは、大人になって荒廃した農村の復興に努め、独特の方法により人々の暮らしを豊かにし、生涯で立て直した村の数は600を超えるほどと言われています。その独特の思想や方法は「報徳思想」という形で、後世に大きな影響を残しました。例えば、渋沢栄一、松下幸之助という日本を代表する実業家は、金次郎さんを深く尊敬していたこと、マネジメントで有名な経営学者であるピーター・ドラッカーは、晩年この思想を高く評価していたことなどもよく知られています。「報徳」とは「万物にはすべて良い点(徳)があり、それを世の中のために活用する(報いる)」という金次郎さんの思想に対して、小田原藩主・大久保忠真から「汝のやり方は、論語にある以德報徳(徳をもって徳に報いる)である」とのお言葉をいただいたことによると言われています。

本校の学校教育目標は「輝く個性 夢きらり」です。南中生の皆さんは、きらりと光る個性をすでにもっています。その個性が夢や目標をもち、その目標達成に向けて金次郎さんのように勉学や学校生活、特技や習い事、手伝いやボランティア活動などに、一所懸命に励むことができれば、世の中を大きく変えるような大きな輝きになります。新しい一年が始まる今だからこそ、気持ちも新たに、自分の個性を認め、それを少しずつ磨き、将来、自分や周りの大切な方々を支え、社会をよりよくすることができる人になってください。

また、金次郎さんは「一円融合」(すべてのものは互いに働き合い、一体となっている。だから決して切り離して考えるのではなく、全てを合わせて一つの円の中に入れてみるという考え方)など、多くの「教え」を私たちに残してくれています。例えば、植物は水、温度、土、養分などいろいろなものが一つになって植物として成長します。皆さんにとって、学習、部活動、委員会活動、学校行事、清掃や係活動、習い事、家族の手伝いやボランティアなど、全てが切り離されたものではなく、自分を成長するために必要なものと私は考えています。ぜひ、無駄なものはないと信じて、自分の中に多くのことを吸収して成長してほしいと願っています。もちろん、その過程では失敗して人に助けをもらうことがあるかもしれません。しかし、その分、自分の得意な部分で他の人を助けてあげられることができることも忘れないでください。進級、進学前の3学期にできることから始めましょう。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、南中生の夢や目標の実現に向けて、引き続き、温かいご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。